

1 展示

総務省がとりまとめ役となって日本パビリオンを設置し、スマートネットワーク、マルチメディア放送、デジタルサイネージ、音声翻訳等を展示(NTT、NTTドコモ、NICTが参画)。

東日本大震災に対する各国支援内容等も併せて展示。この他、富士通、NTT Groupが独自に出展。



日本パビリオンの様子

2 ブロードバンド・リーダーシップ・サミット

テレコム40周年を記念し、出席者を政府閣僚級及び企業トップに限定した「ブロードバンド・リーダーシップ・サミット」において、“Smartening Up Society”をテーマとするセッションに、山川総務審議官がパネリストとして参加(及び“B More with Broadband”をテーマとするセッションに、富士通山本社長が参加)。



ブロードバンド・リーダーシップ・サミットに参加する
山川総務審議官

(参考) 日本パビリオンの概要

日本パビリオンの展示内容	出展企業
<p>日本電信電話株式会社のデジタルサイネージの最新の取り組みの紹介として、実機やパネル・VTR を活用し、以下の3つのサイネージを展示。</p> <p>1. ソーラーサイネージ 高効率な太陽電池と高機能・高性能なリチウム・イオン電池を組み合わせ、「停電・節電」に対応したデジタルサイネージシステム。実機にて災害時等の利用イメージを紹介。</p> <p>2. タブレット型サイネージ Android 搭載タブレット型端末をデジタルサイネージ用ディスプレイとして活用した SaaS 型サービス。実機にて利用イメージを紹介。</p> <p>3. 【参考出展】携帯電話連携サイネージ デジタルサイネージと携帯電話を組み合わせたインタラクティブなコミュニケーションを実現する技術をレストラン予約と人気投票の利用イメージの VTR で紹介。</p>	日本電信電話株式会社
<p>1. スマート・ネットワーク・プロジェクト ホーム I C T 及び電気自動車 (E V) を支えるサービス基盤で利用する通信規格の検討のために日本で行っていた実証実験の内容の一部を展示。家庭にある家電の電気消費量について、A R (拡張現実) を利用してスマートフォンの画面に表示させたり、あるいは T V 画面と連動した形で天気や各部屋の気温等の様々な周辺情報とともに表示させたり、スマートフォンを利用して家電の操作を行う動態デモを実施。</p> <p>2. マルチメディア放送 日本で 2 0 1 2 年の春にサービスが開始される予定の V - H i g h マルチメディア放送 (I S D B - T m m 方式) 対応のスマートフォンのデモ機に映像を流し、高画質な放送画像を見られる動態デモを実施。</p>	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
<p>独立行政法人情報通信研究機構が国際標準化に貢献した I T U - T 勧告 F. 745 及び H. 625 に基づくネットワーク型音声翻訳システム、東日本大震災においても活用されたコグニティブ無線技術を用いた地域ネットワークインフラ、UWB 技術を用いたボディ・エリア・ネットワーク、電波を利用した人検知システムのデモ展示を実施。</p>	独立行政法人情報通信研究機構